

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (787), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Footer table with columns: 評価 (現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)), 改善案及び展開方向

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	804	課コード	0704	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 親しみのある公園、緑地の整備	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	都市部・公園緑地課					
	③事業主体	個別事業 気象台記念公園の整備	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北		■新木	○布佐 ○全市					
	⑤事業期間	平成16年度～平成27年度		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.2人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	107,080千円		当該(開始)年度	(当初)	3,780千円 (うち人件費 1,780千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	緑の基本計画・環境基本計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	公園・緑地が持つ機能に配慮し、市内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳などの歴史的・文化的資源を活用しながら、市街地で公園が不足している一部の区域において公園の整備を検討します。また、誰もが安心して利用できるよう公園のバリアフリー化を進めるとともに、主要公園における遊具の充実を図り、子どもたち憩いの場を確保し、①多くの人が多目的に使える開放的な緑地空間、②気象に関する資料や顕微鏡機能を備えた岡田武松氏の記念館の土地利用の考え方を基本に、防災機能を有した公園として整備する。			事業目的	気象台記念公園整備計画検討懇談会の提言に基づき、環境や歴史などの特徴を十分に踏まえた整備を図る。						
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	樹林地の樹木管理として樹木剪定する。						
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				当該年度活動結果指標	公園の整備面積率	単位	%	想定値	77		
当該(開始)年度	整備計画見直しの検討	指標種類	直接		指標	%		(5) 現況値	(6) 目標値			
3年後	基本計画の見直しを行い、整備工事を完了する	直接			%			77	77			
最終(概ね5年後)	多くの人たちに多目的に利用してもらう	-						0	0			
(7) 事業実施上の課題と対応	公園の基本計画に、岡田武松記念館の整備がある。布佐近隣センター整備時に岡田武松氏に関するブースも整備されたことから、記念館の必要性を再度検討する必要がある。			代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
		政策	* 樹林地の樹木管理(剪定) 整備計画見直しの検討	3,150	政策	* 樹林地の樹木管理(剪定)	2,000	政策	整備計画見直しの検討		政策	整備計画見直しの検討
		金額(千円)	3,150	金額(千円)	2,000	金額(千円)	0	金額(千円)	0			
		合計	3,150	合計	2,000	合計	0	合計	0			
		補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
		起債	0%	起債	0%	起債	0%	起債	0%			
		一般財源	3,150	一般財源	2,000	一般財源	0	一般財源	0			
		その他の財源	0	その他の財源	0	その他の財源	0	その他の財源	0			
		換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.2			
正職員人件費	1,820	正職員人件費	1,780	正職員人件費	1,780	正職員人件費	1,780					
嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0					
臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0					
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	4,970	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	3,780	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	1,780	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	1,780					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	64.55千円/%		49.09千円/%									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)													
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価	平成13年3月、国からの譲与と買取で市有地となり、平成14年3月供用開始した気象台記念公園(4.3ha)の土地利用計画の提言が「気象台記念公園整備計画検討懇談会」から平成17年3月提出されたのを踏まえて事業を実施する。広大な芝生のオープンスペースを活かし、防災機能を持つ公園として整備を進める。			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>			改善検討	○要 ○不要			
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	理由	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他  ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		理由	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>			改善検討	○要 ○不要			
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他  <その他の内容>			工夫の具体的な内容	パブリックコメントを踏まえ、基本計画を策定している。			改善検討	○要 ○不要			
	実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容	○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			改善検討	○要 ○不要			
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他  <その他の内容>			取組む内容	環境に配慮した構造とする。			改善検討	○要 ○不要			
	実施した具体的な内容				環境への配慮	○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>			改善検討	○要 ○不要			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	77	目標値(b)(%)	77	目標値の妥当性のチェック	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成  <目標を達成した理由/未達成となった原因>		改善検討	○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	3,780	事業費削減額(d)(千円)	1,190	実施予定の対策	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他			実施状況	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過  事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		改善検討	○要 ○不要
	事業費削減率(%)	23.94		<削減の内容>		<超過理由等>						改善検討	○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)	2.04	単位	%	費用単位	10万円			達成状況	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下  <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		改善検討	○要 ○不要
	計算方法	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			達成状況	実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100				改善検討	○要 ○不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード (809), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善案及び展開方向 (Improvement cases and expansion directions).

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード (816), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	1731	課コード	0704	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	市民の森・施設整備		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	都市部・公園緑地課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input checked="" type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input checked="" type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.15人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	5,882千円 (うち人件費 1,335千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	11301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	緑の基本計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	多くの市民が自然にふれあい、憩うことができるよう、市民との連携により谷津ミュージアムや古利根沼周辺の保全などの核となる事業を推進します。また、くらしの中で自然が感じられるよう、「手賀沼沿い斜面林保全条例」と「緑地等保全及び緑地の推進に関する条例」に基づく指定やその維持管理に対する助成など岡発戸市民の森、中里市民の森、布佐市民の森について、それぞれの整備計画に基づいて、自然環境の保全・活用と併せて、市民が利用しやすいよう整備する。平成28年度は、中里市民の森用地の一部(844㎡)を取得し、老朽化した車止めの設置工事を行う。			事業目的	市民の森を設置することにより、自然環境の保全を図るとともに、市民が自然と親しみながら森を育てる体験・実践の場、また、憩いの場として整備・維持管理する。					
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	貴重な緑地の保全 中里市民の森用地の一部を取得し、老朽化した車止めの設置工事を行う。					
					当該年度活動結果指標	市民の森施設等の整備	単位	箇所	想定値	1	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	貴重な緑地の保全				直接	施設整備		箇所	0	1	
3年後					直接				0	0	
最終(概ね5年後)					直接				0	0	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価		事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	自然環境の保全や市民の憩いの場として、地権者からの用地買取り申し出に対応する必要がある。また植生や景観を損なわない範囲で車止め等の施設整備は必要である。		<input type="checkbox"/> ①事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input checked="" type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他	<その他の内容>	<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input checked="" type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容>		みどりのボランティアによる維持管理				<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮	
	<input checked="" type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input checked="" type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input checked="" type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>		森を適切に維持管理し、鳥をはじめとする生物の生息環境を保全する。				<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (箇所)	目標値(b) (箇所)	目標値の妥当性のチェック				達成状況	<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>
	0	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である				実績値(f) (箇所)	達成率(%) (f/b) × 100
			対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g) (千円)		対事業費(%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について
	5,882	△4,517	<削減の内容>		<超過理由等>			<input type="checkbox"/> ①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	0.02	単位 箇所	費用単位 10万円	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード (1881), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 27, 28, 29, and 30.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for (1) 事業が必要である理由, (2) 市の必要性, (3) 市民の参加, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定, (6) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for '現状どおり推進' and a '評価コメント' section.

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (2153), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.